Form No. 3452-302 Rev A

走行モータ及びホイールモータ交換キット

Greensmaster® eTriFlex® 3360 および 3370 トラクションユニット用

モデル番号 147-3051

モデル番号 147-3052

モデル番号 147-3053

モデル番号 147-3054

取り付け要領

取り付け

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カッティングユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体の電源コネクタを外す; マシンの*オペレーターズマニュアル*を参照。

2

車体をジャッキで持ち上げる場合

必要なパーツはありません。

手順

マシンを持ち上げるマシンの*オペレーターズマニュアル*の整備前の準備の項を参照。

3

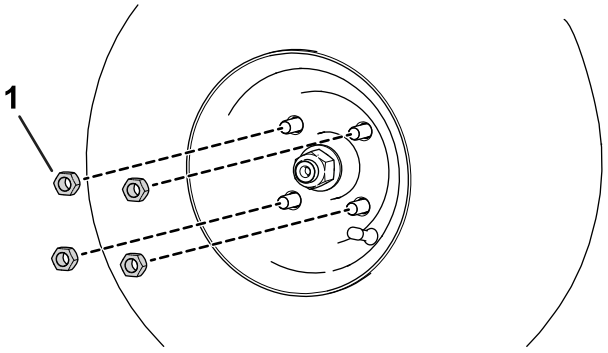
前輪を取り外す

必要なパーツはありません。

手順

注 左側のモータモデル No. 147-3052 または 147-3054を交換する場合には、左前車輪を外します。右側のモータモデル No. 147-3051 または 147-3053を交換する場合には、右前車輪を外します。

1. ホイールラグナットをゆるめて外す図 1。



g280226

図 1

1. ラグナット

2. タイヤを外す。

© 2022—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3452-302

4

前輪のハブを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 前輪のハブのロックナットを少なくとも 2 回転ゆるめる。
2. プラー爪が 3 個あるものを使用して、ギアボックスのシャフトについている前輪アセンブリをゆるめる。

   重要 **前輪のハブやギアボックスアセンブリを取り外すときに、ハンマーで叩かないでください。ハンマーで叩くとギアボックスを破損する恐れがあります。**
3. ホイールハブのロックナットとワッシャを外して、ホイールハブを取り外す図 2。
4. 半月キーを抜き取る図 2。

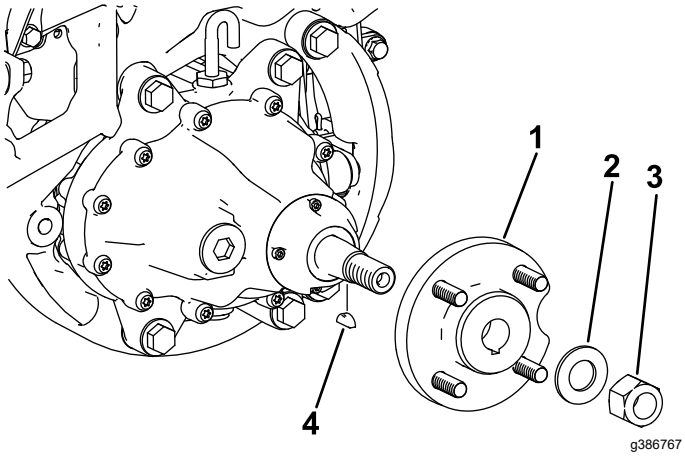


図 2

1. ハブ
2. ワッシャ
3. ロックナット
4. 半月キー

5

走行モータのギアボックスのオイルを抜き取る

必要なパーツはありません。

手順

1. ホイールモータアセンブリ下にオイルを受ける容器を置く図 3。

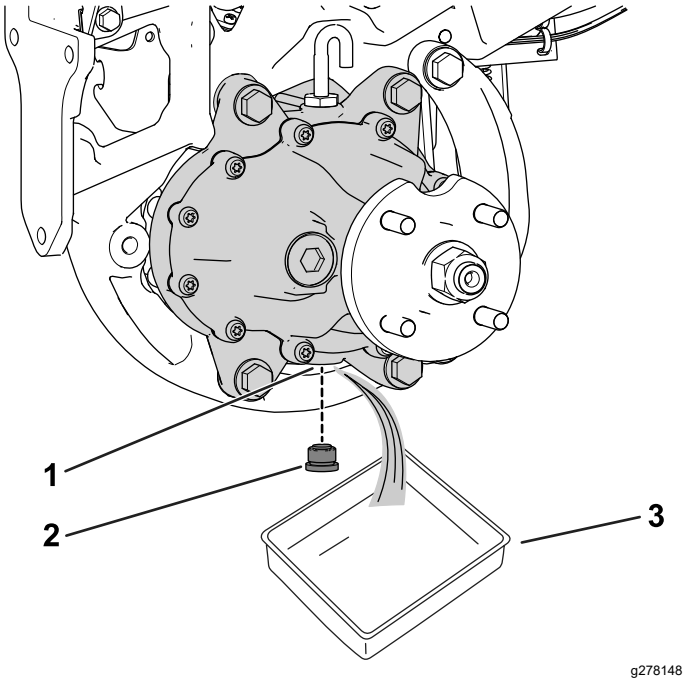


図 3

1. ドレンポート
2. ドレンプラグ
3. 容器

2. ドレンポートからプラグを外す図 3。

   注 ドレンポートはギアボックスの底部にあります。

   注 オイルが完全に抜けるまで待ってください。
3. プラグをきれいに拭く。
4. ドレンポートにドレンプラグを取り付ける図 3。

6

既存のモータを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 走行モータP/N 147-3051 または 147-3052を交換する場合は、以下のように既存のモータを取り外す。
   A. 既存のモーターアセンブリから、ギアボックス及び関連ハードウェアを取り外して保管するマシンの *サービスマニュアル*を参照。
   B. 既存のモータアセンブリーを取り外して廃棄するマシンの *サービスマニュアル*を参照。
2. ホイールモータP/N 147-3053または147-3054を交換する場合は、既存のモータアセンブリを取り外して廃棄するマシンの *サービスマニュアル*を参照。

7

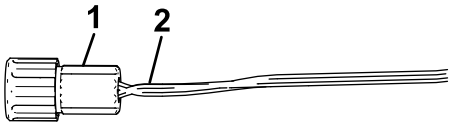
ワイヤハーネスのアダプタを取りつける

この作業に必要なパーツ

1	モータアセンブリ
1	ワイヤハーネスモータアダプタ
6	オープンエンドスプライス
1	クローズドエンドスプライス

手順

1. モータのワイヤーハーネスから、既存のモータアダプタを切り離す。



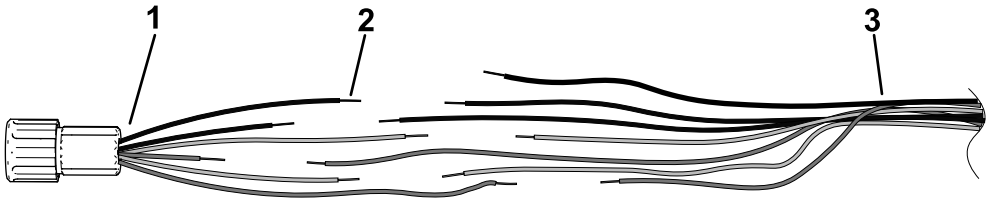
g386267

図 4

1. 既存のモータアダプタ
2. ここで切り離す

2. 結線部が同じ場所に集中しないようにするため、ハーネスの電線を少しずらして切る図 5を参照。
3. 新しいアダプタの電線を適切な長さにカットする図 5。
4. アダプタの電線 6 線とハーネスの電線 7 本から絶縁被覆をそれぞれ約 9.5 mm ずつ剥く図 5。

   重要 **被覆を剥くときに電線に傷をつけないように注意してください。**



g386280

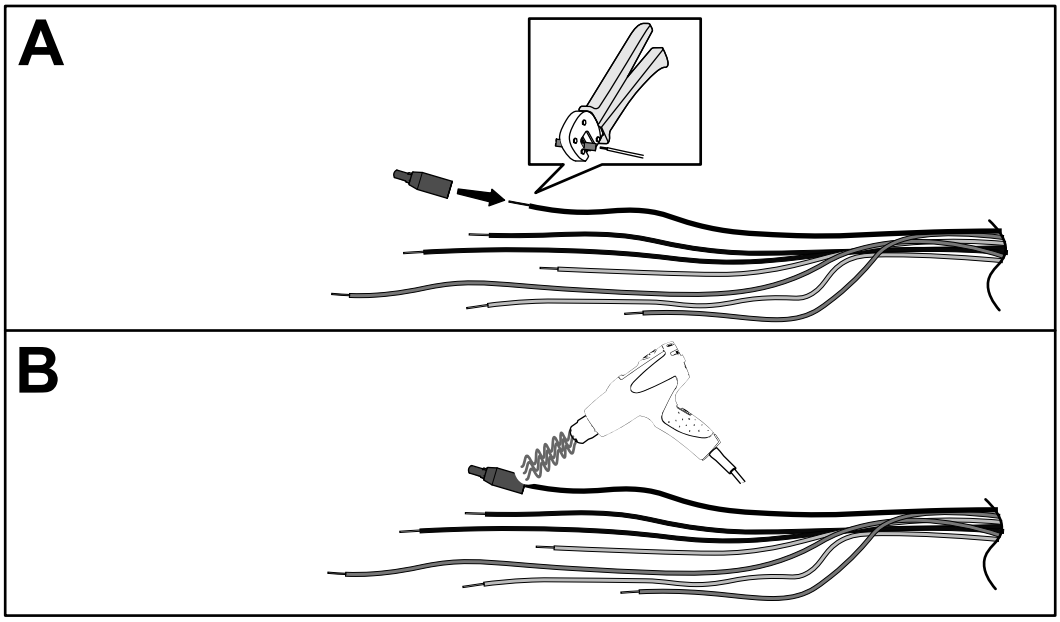
図 5

1. モータのアダプタキットの付属品
2. コードの露出 9.5 mm
3. 既存のワイヤハーネス

5. 結線用の接着剤が確実に接着するように、絶縁体が汚れていないこと、銅線部が腐食していないことを確認する。
6. 既存のワイヤーハーネスの灰色の電線の 1 本に、サイズ22-14 AWGの合うカシメ工具を使って、クローズドエンドスプライスを取り付ける図 6のAを参照。

   注 スプライスをカシメる時に絶縁被覆を傷つけないように注意してください。
7. 適切なヒートガンを使用して、接着剤がはみ出るまでスプライスの絶縁体を熱収縮させる図 6のB。

   注 絶縁体を熱しすぎたり、焼いたりしないように注意してください。



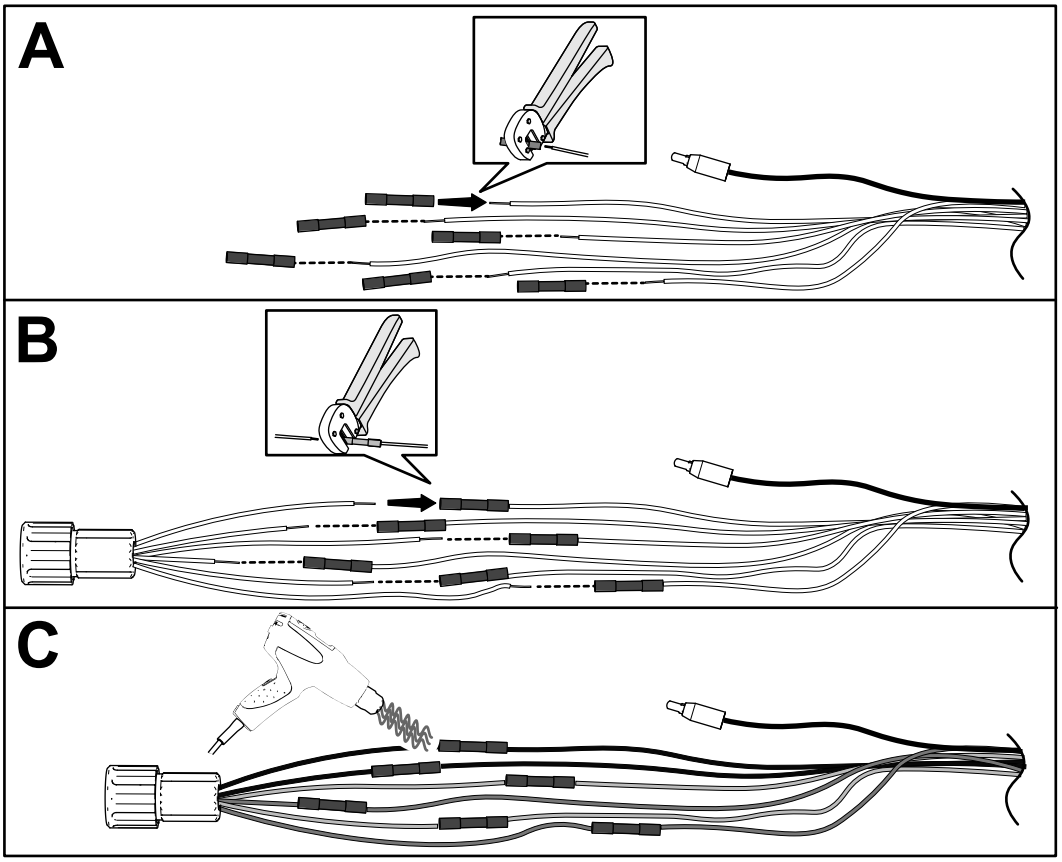
g390752

図 6

8. 既存のワイヤーハーネスの、残り 6 本の電線に、サイズ20-18 AWGの合うカシメ工具を使って、オープンエンドスプライスを取り付ける。1個ずつ作業すること図 7のAを参照。

   注 スプライスをカシメる時に絶縁被覆を傷つけないように注意してください。
9. モーターアダプターの各電線を、対応するオープンエンドスプライスに、色を合わせて挿入し、コネクタを確実に圧着する図 7のB。
10. 適切なヒートガンを使用して、両端から接着剤がはみ出るまでスプライスの絶縁体を熱収縮させる図 7のC。

    注 絶縁体を熱しすぎたり、焼いたりしないように注意してください。



g386293

図 7

8

モータを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 走行モータP/N 147-3051または147-3052を交換している場合は、ステップ16 既存のモータを取り外す (ページ 2)で外したギアボックスをここで新しいモータに取り付ける。マシンの *サービスマニュアル*を参照。
2. マシンにモータアセンブリを取り付けるマシンの *サービスマニュアル*を参照。

9

前輪のハブを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 先ほど外しておいたハブを、ロックナットとワッシャで元通りに取り付ける図 8。
2. ナットを 237-305 N·m24.2-31.1 kg.m = 175-225 ft-lbにトルク締めする。
3. 半月キーを取り付ける図 8。

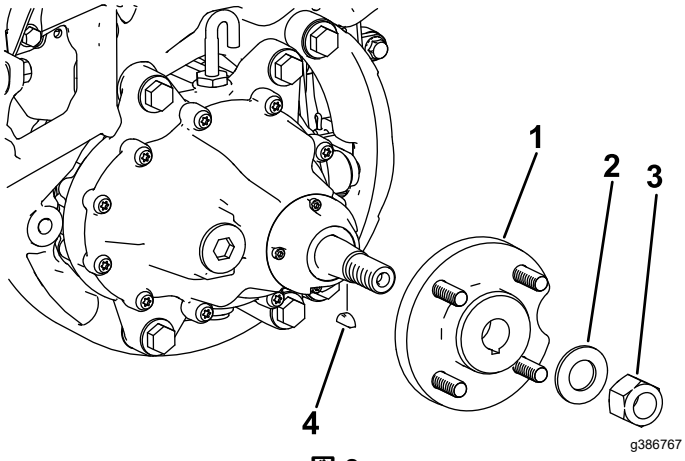


図 8

1. ハブ
2. ワッシャ
3. ロックナット
4. 半月キー

10

走行モータのギアボックスにオイルを入れる

必要なパーツはありません。

手順

重要 **ギアボックスに適正量のオイルを入れるためには機体が水平であることが必要です。**

ジャッキスタンドで機体を水平に支持してください。

1. ギアボックス上部から換気ホースとフィッティングを外す図 9。

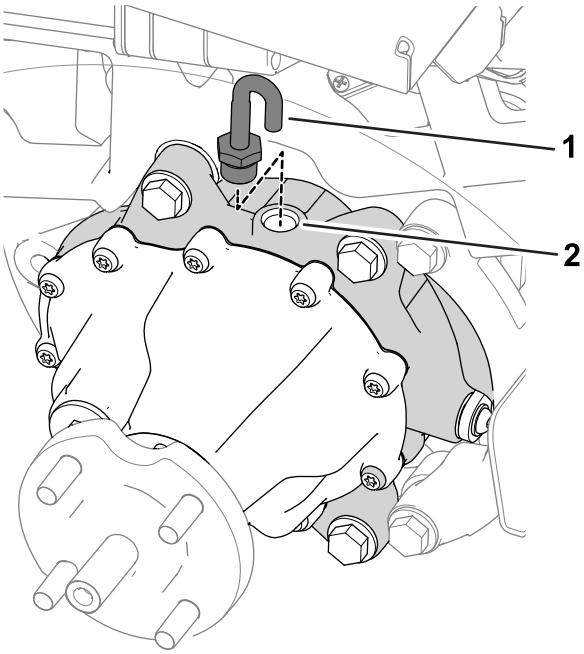


図 9

1. 換気ホースとフィッティング
2. 補給ポート

2. 給油ポートから SAE 80W90 オイルを 384 ml 入れる。
3. 給油ポートに換気ホースとフィッティングを取り付ける図 9。

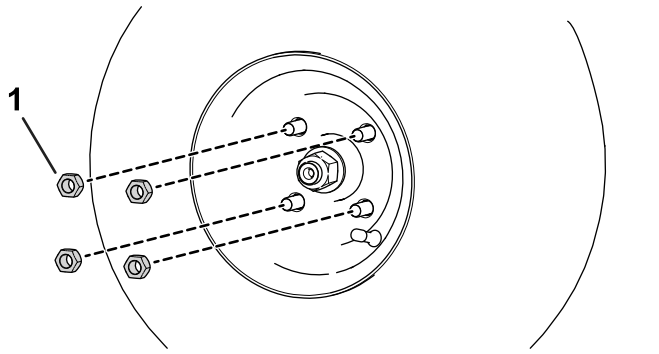
11

前輪を取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. ホイールハブにタイヤを取り付ける。
2. ホイールラグナットを取り付ける図 10。

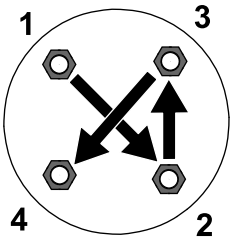


g280226

図 10

1. ラグナット

3. 図 11のように対角線パターンで、ラグナットをトルク締めする108-122 N·m 11-12 kg.m = 80 to 90 ft-lb。



g274650

図 11

12

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体を床に降ろす。
2. 車両の電源コネクタを接続する; マシンの*オペレーターズマニュアル*を参照。
3. 走行モータの試運転を行うマシンの *サービスマニュアル*を参照。
4. 走行モータのキャリブレーションを行うマシンの *サービスマニュアル*を参照。



Count on it.